



江戸時代は
下町が海だった

市街地が

特別展示

明治

山が削られ
埋立てが進み

中央

語る横須賀

追浜の先駆性と変貌

大正

造船所が
できて



新しい港が
できて

電車の駅ができた

木造密集で
大火が多々

市役所
警察署
郵便局が
できて

昭和



区画道路
が整備された

2024 12.3(火) ▶ 2025 5.21(水)

横須賀市自然・人文博物館

神奈川県横須賀市深田台 95 TEL | 046-824-3688

開館時間 | 午前 9 時～午後 5 時 休館日 | 月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始(12/29-1/3)

協力 | 関東学院大学建築・環境学部 黒田研究室

入場
無料



特別展示

市街地が語る 横須賀

中央・追浜の先駆性と変貌

横須賀の市街地は、幕末から急速に拡大し、再開発事業が展開され、町並みが大きく変貌してきました。そして、今もなお大きく変貌しようとしています。

今回の展示は、市街地の形成を通して「今と昔」を比較し、横須賀の成り立ちと今後について考える機会として企画しました。

映像や模型などを通して都市の歴史や市街地の変遷をお楽しみ下さい。

明治



すべてはここから始まった

幕末に建設が始まった横須賀製鉄所は、横須賀造船所、海軍工廠となり、その発展に伴い、横須賀の都市づくりが進められた。



震災復興 海陸軍の活躍

震災復興における海陸軍の活躍はめざましい。下町地区の区画道路も海軍主導で整備された。震災前の道路は現在の路地となり、痕跡を残している。

昭和



昭和五年 横須賀中央駅開業

明治期から横須賀の中心部は汐入地区だったが、下町エリアが栄え、駅が開業すると「横須賀中央」と駅名がつけられた。



横須賀中央駅前のビル
「センターヨコスカ」

横須賀中央駅前のビルなので「センターヨコスカ」と名付けられた。現在の横須賀プライムで、再開発の工事が進んでいる。



三笠ビルの謎を
建築模型で解明

三笠ビルは、何階建てでしょう。都市の不燃化、敷地や外壁などの共同化、インモールのショッピングビルなど、全国的にも先駆的なビル建設を実現させた。

先人たちの 街づくりの 足跡をたどる

記念講演

先着 60 名
(当日先着順)

2024
12.21(土)
13:30-15:30



【場 所】横須賀市自然・人文博物館 講座室

【講 師】関東学院大学教授 黒田泰介

関東学院大学建築・環境学部 黒田研究室の協力により、先人たちの街づくりの足跡を時代ごとの模型で紹介。模型から見てくる街の歴史についてのお話など。



追浜の今昔を
合わせ地図で比較

地図を合わせてみると、かつての町の痕跡が見えてくる。

展示解説

2024
12.3
(火)

2025
1.25
(土)

2025
3.23
(日)

13:30-14:30

【場 所】横須賀市自然・人文博物館
特別展示室

交通案内

京急線「横須賀中央」駅から徒歩 10 分

JR 横須賀線「横須賀」駅から衣笠駅ゆき
バスで「文化会館前」下車、徒歩 5 分

横浜横須賀道路「横須賀 IC」/「衣笠 IC」
から車で 15 分

横須賀市文化会館の駐車場がご利用
いただけます(156 台)

